

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山路 麻佳	職名	特任講師	学位	修士 (教育学) (福岡教育大学 2013 年)
----	-------	----	------	----	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
ピアノ演奏学	ピアノ演奏表現、音楽教育、保育者養成ピアノ教育 幼児の音楽表現、器楽アンサンブル(合奏)

研 究 課 題
<p>保育者養成のためのピアノ教育において、経験のない初心者への効率的な指導法を童謡の弾き歌いにおけるピアノ伴奏を中心にして考察する。また、保育者養成におけるピアノ教育が幼児の音楽表現にどのように関わっていくのか、ピアノ演奏表現も関連させながら考察する。</p> <p>幼児の音楽表現に関して、器楽アンサンブル(合奏)を中心にして考察する。</p> <p>ピアノ演奏表現について、ピアノ作品の作曲家や時代背景を中心にして演奏解釈を考察し表現を深める。</p>

担 当 授 業 科 目
<p>こどものためのピアノⅠ(前期)</p> <p>こどものうたと伴奏法Ⅰ(前期)</p> <p>音楽の基礎(前期)</p> <p>こどものためのピアノⅡ(後期)</p> <p>こどものうたと伴奏法Ⅱ(後期)</p> <p>保育総合表現(後期)</p>

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【こどものためのピアノⅠ】</p> <p>授業の最初にソルフェージュ課題を取り入れ、ピアノ実技の導入として読譜力をしっかり身につけ本科目の目的であるピアノ実技に活かしていくことができるようにした。</p> <p>また、今年度前期は遠隔授業となったため時差等によってピアノレッスンへの問題が生じないよう、事前に動画で課題を提出させることで、時差等による音質障害だけでなく演奏の完成度を上げる意識を高めることができるようにした。</p>
<p>授業科目名【こどものためのピアノⅡ】</p> <p>1年生は初めて対面でのレッスンであったため、模倣演奏を示しながら正しい奏法(姿勢・手のフォーム・ポジション・リズム・運指等)について改めて個々のレッスンで教授した。弾き歌いの課題ではコード伴奏課題を入れることで、前期で履修した「音楽の基礎」での学びを踏まえて、知識に加えて演奏を通して理解を深めることで、より実践的なピアノ技能を高められるよう進めた。</p>
<p>授業科目名【こどものうたと伴奏法Ⅰ】</p> <p>授業の最初に個々のピアノ習熟度に応じてソルフェージュ課題を取り入れることで、学生の読譜力の向上につなげ、ピアノ演奏に活かしていくことができるようにした。また、1年次に学んだコード伴奏の内容を復習しピアノ実技に取り入れることで、より実践力を高められるよう進めた。</p> <p>また、今年度前期は遠隔授業となったため、時差等によってピアノレッスンへの問題が生じないよう、事前に動画提出を課題とすることで、時差等による音質障害だけでなく、演奏の完成度を上げる意識を高めることができるようにした。</p>

授業科目名【こどものうたと伴奏法Ⅱ】

これまでに習得したピアノ技術をもとに、学生の習得状況に応じた課題を準備し、各々が社会に出てから必要となる力を身につけられるよう個々の習熟度に合わせた指導を行った。また、個別レッスンの他に少人数ずつ学生を集め発表の場を設けることで、学生の意欲を高めより実践を意識して取り組めるようにした。

授業科目名【音楽の基礎】

遠隔授業であったため、例年のような机間指導ができない状況であったが、パワーポイントの画面に動画やアニメーションを利用して映像や音符の動きを加えながら説明することで、学生が理解しやすい資料の提示・説明を心がけた。また、課題への添削を個々にコメントを加えるだけでなく、必要に応じて個別に話す機会を設けながら進めた。

授業科目名【保育総合表現】

こどものためのミュージカルを学生主体で作り上げていくにあたって、作品にふさわしい音楽を作曲や選曲、効果音の提案をし、作品を表現していく上での音楽の重要性が伝わるよう進めた。また、今回は脚本を作成するにあたり、作品で使用する曲を記譜することで正しい記譜法だけでなく、今後の現場で活用できる脚本作成へと導いた。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本保育学会 九州公私立音楽学会		2018年10月～現在に至る 2019年9月～現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称 (学会発表)	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州音楽協会	協会員	2015年4月～現在に至る
福岡青年音楽家協会	協会員	2016年4月～現在に至る
むなかた第九コンサート	伴奏ピアニスト	2016年4月～現在に至る
「東京インテリア家具 MOA café コンサート」	ピアニスト	2020年4月5日
「九州山口ジュニアピアノコンク ール」審査員	審査員	2020年7月25日
島村楽器「福岡地区音楽教室発表会」	伴奏ピアニスト	2021年2月27日
宗像ユリックス「ロビーコンサート」	ピアニスト	2021年3月26日

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
チャペルアワー 奏楽 入学式 奏楽 クリスマス礼拝 奏楽